

## 9月の日経平均株価

9月の日経平均株価は月末終値が1万7388円15銭。前月末に比べ1502円33銭(7.95%)安と、8.23%下落した8月に続いての大幅安となった。日経平均が2カ月続けて1000円以上の下げに見舞われたのは2008年9～10月以来。中国経済の減速を震源とする世界景気悪化への懸念が続いた。独フォルクスワーゲンの排ガス試験を巡る不正や、安倍晋三首相による携帯電話料金の引き下げ言及で、自動車株や通信株が下落したことも影を落とした。

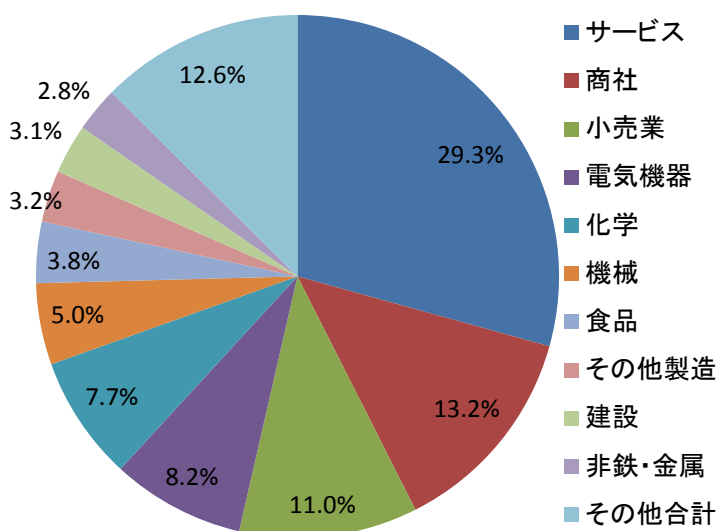
## 今月のトピック: 相対的な底堅さ保つ日経ジャスダック平均

2カ月連続で大幅安となった東京株式市場で、日経ジャスダック平均株価が相対的な底堅さを保っている。日経ジャスダック平均の9月の下落率は4.88%と、日経平均株価の下落率(7.95%)を下回った。大型株を手がけにくい時には小型株が幕あいつなぎ的に買われることがあり、そうした相場では、構成銘柄に小型株が多い日経ジャスダック平均が日経平均をアウトパフォームすることは少なくない。今回も同じ現象が起きているのだろうか。

日経ジャスダック平均は東京証券取引所ジャスダックに上場する全銘柄(日銀、不動産投資信託、外国株および整理銘柄を除く)を対象に、「ダウ式」により算出する修正平均株価。日経平均に比べ小型株が中心の株価指数ということに加え、事業基盤を国内に置く内需系銘柄が多いという特徴がある。

図1は日経ジャスダック平均の構成銘柄のウェートを示したもの。サービスや小売業、食品など、一見して内需系銘柄のウェートが大きいことが分かる。銘柄数ベースでもこの傾向は変わらず、最も多いサービスは252銘柄と、ほぼ3社に1社を占めている。

図1: 日経ジャスダック平均の業種別ウェート上位



8月からの相場下落は中国の景気減速懸念が直接の引き金だった。中国の景気減速が他の新興国などにも伝播し、世界的な成長鈍化が企業業績の足かせになるとのシナリオだ。事実、足元では世界景気に敏感とされる輸出関連株や資源関連株の下げが目立っている。「内需株の多いジャスダック市場は『中国ショック』の影響が小さい」との説明は、理に合っているようにもみえる。

ただ、日経平均の値動きとの比較では違った側面も見えてくる。図2は日経平均が年初来高値を付けた6月24日終値を100として指数化した、日経平均と日経ジャスダック平均の動きだ。中国ショック

に端を発した8月の日経ジャスダック平均の値動きは日経平均と大差なく、差がより顕著になったのは9月中旬以降であることが分かる。

最初の乖離のきっかけは9月11日の経済財政諮問会議だ。安倍首相が携帯電話料金の引き下げの必要性に言及したことで翌営業日の14日は通信株が軒並み大幅安となり、日経平均も298円下落した。半面、日経ジャスダック平均はわずかながら上昇して引けた。もう一つは独フォルクスワーゲン(VW)の不正問題。不正発覚がシルバーウィーク中だったため、連休明け24日の東京市場は自動車株が軒並み安に。日経平均が498円(2.76%)下落した一方、日経ジャスダック平均は0.49%の下落にとどまっている。

市場関係者によれば、ジャスダック上場銘柄が積極的に買われている形跡はなく、単に「携帯電話料金の引き下げやVW問題がジャスダック市場にはさほど影響しなかった」ということのような。裏を返せば、足元の日経平均の急落は矢継ぎ早に大きな悪材料に見舞われた結果であることを、改めて炙り出しているといえそうだ。

図2: 日経ジャスダック平均と日経平均



(注)6月24日=100として指数化

日経指数月次サマリー(2015年9月)

(データは9月末時点)

指数名	指数値	月間騰落率	平均リターン	標準偏差	年初来高値	同日付	年初来安値	同日付
日経平均株価	17388.15	-7.95%	0.04%	1.43%	20868.03	6月24日	16795.96	1月14日
JPX日経インデックス400	12628.54	-8.58%	0.03%	1.36%	15251.93	8月10日	12308.20	1月7日
日経平均トータルリターン	26001.86	-7.34%	0.05%	1.42%	30941.86	7月21日	24719.38	1月14日
日経平均ボラティリティ	32.19	-3.07%	0.52%	7.58%	47.01	8月25日	16.33	7月21日
日経平均VIX先物	28800.61	26.72%	-0.08%	3.31%	50080.55	1月6日	17065.71	8月17日
日経平均ドルヘッジ	18442.29	-8.00%	0.04%	1.44%	22179.49	6月24日	17851.30	1月14日
日経平均ユーロヘッジ	16244.80	-8.07%	0.04%	1.44%	19531.69	6月24日	15690.33	1月14日
日経平均カバードコール	15489.17	-7.15%	0.03%	1.31%	18257.09	8月10日	14648.80	1月14日
日経平均リスクコントロール	16643.23	-2.58%	0.01%	0.75%	18586.71	6月24日	16255.58	1月14日
日経平均レバレッジ	12199.34	-16.39%	0.08%	2.85%	18015.34	6月24日	11574.10	9月29日
日経平均インバース	2748.26	7.16%	-0.04%	1.43%	2942.85	1月14日	2343.28	7月21日
日経平均ダブルインバース	3421.46	13.19%	-0.08%	2.85%	4059.40	1月14日	2543.36	7月21日
日経株価指数300	284.35	-8.72%	0.03%	1.35%	343.20	8月10日	274.44	1月14日
日経中国関連株50	1410.42	-7.74%	0.00%	1.38%	1805.35	5月29日	1371.78	9月29日
日経500種平均株価	1573.73	-7.58%	0.06%	1.35%	1871.64	8月10日	1464.27	1月7日
日経JAPAN1000	1666.56	-8.29%	0.04%	1.35%	2000.58	8月10日	1603.46	1月14日
日経ジャスダック平均株価	2456.15	-4.88%	0.03%	0.92%	2847.99	7月21日	2329.73	2月3日

指数名	指数値	昨年比	最高値	同対象年	最安値	同対象年
日経配当指数	168.16	24.53%	168.16	2015	49.38	2002

注: 平均リターン、標準偏差は過去1年の日次騰落率から算出  
日経配当指数の昨年比は昨年9月末時点との比較、最高値、最安値は1998年以降の同時点の比較

【ディスクレーム】本資料は信頼できると思われる各種情報、データに基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性などに対して日本経済新聞社(日経)は責任を負いません。また本資料に記載された情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害について、日経は一切その責任を負いません。本資料は、常に最新の情報に更新されていることを保証せず、また予告なく変更することがあります。本資料の一切の権利は日経に属しており、本資料を無断で転載したり第三者にコピー等を流布することを禁じます。